



# 『デジタル技術活用と連携企業先との 協業強化による受注の拡大』

- ✓ 素形材+機械加工のセット受注を行うことで作業効率化を実現
- ✓ 基幹システムを導入し、各種データを一括管理
- ✓ 基幹システム導入により社内外との連携・協業強化を実現

## 株式会社菊水フォーシング



所在地	米子市夜見町	従業員数 (パート・アルバイト含む)	65人
業種	鍛工品製造業	支援機関	米子商工会議所

## 取組の背景

### (1) 内製による設備・技術の多様性への対応の限界

- ・機械加工のための設備、技術は材質、大きさ、ロット、形状、精度により多種多様で、全てを内製でカバーするのは困難であり、外注に頼らざるを得ない状況だった。

### (2) 管理技術・能力の不足

- ・後工程付きアイテムの増加は納入頻度増大、納入容器管理増大、工程間移動の複雑化、原価管理など管理工数の飛躍的な増大に繋がるため、人海戦術に頼らない持続可能な管理方法、設備が必要だった。

### (3) 機械加工外注受皿の不足

- ・内製での対応困難なアイテムの受注には機械加工外製先の確保が必要で、更なる対応能力拡大のためには、様々な得意分野を有する新規連携先の開拓が必要だった。

## 取組の内容・成果

### (1) 基幹システム導入

- ・既存の基幹システムを改変し、ICT技術の活用により複雑化する社内業務の省力化・合理化とリードタイム短縮を図るとともに、新システムに外製先とのネットワークツールとしての性質を持たせ、既存外製先との業務の合理化、加えて新規外製先開拓における連携構築手段を確立する。

### (2) セット受注の拡大

- ・機械加工に関する新たな連携先を確保し、その連携先と基幹システムを活用して「素形材+機械加工」のセット受注を行う。リアルタイムで製品の情報を共有することで効率的な製品製造を行うことができ、品質・納期・在庫管理の手間が省け、大幅な業務合理化、従業員の時間外労働の削減を実現できる。

## 今後の展望

基幹システムの改変を機に、「リアルタイム・スピード・見える化」をテーマにデジタル技術の活用によりこれまでの弱点を克服し、社内及び社外連携先とシームレスな協業を実現させる。今後、受注能力拡大と新規顧客開拓の結果としての売上、付加価値増大を目指し、労働時間の削減等の働き方改革にも繋げていく。